

クビキレガイモドキ

Cecina manchurica A. Adams

ニナ目イツマデガイ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

選定理由

護岸改修が進んでいる現状において、生息地における生息可能な環境が極端に限定される。また生息場所の成立条件が不安定であり、絶滅を回避するためには計画的な保全対策が必要である。

形態

貝殻はやや小型で殻高約5mm。螺塔は高いが成長に伴って殻頂は欠損するため円筒形の外観となる。殻はやや薄く、茶褐色で光沢がある。

国内分布

石川県のほかに青森県と北海道に分布。

県内分布

七尾南湾。

生態

内湾の海藻などの漂着物が溜まる場所の潮上帯（飛沫帯）のうち限られた狭い幅の中に生息する。

生存の危機

海岸の開発や護岸改修による生息環境の消失、破壊。廃油等による環境汚染。(A)

特記事項

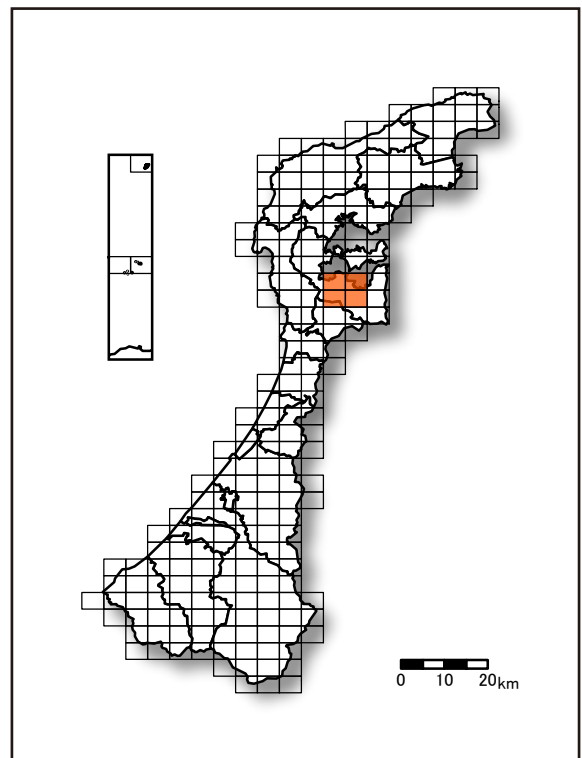
湊宏博士が1969年に七尾市内の生息地で調査・採集を行って以降、確認されていなかったが、2008年に筆者らが七尾南湾の1箇所において生息を確認した。生息場所は海岸線に沿った20mほどの範囲であり複数個体が確認されたが、生息密度はあまり高くなかった。その両側はコンクリート護岸や崖となっており、生息に適した環境はみられなかった。

参考文献

川端義信 2004. 能登半島産の軟体動物目録. 七尾市少年科学館研究報告8 : 43-82.
湊宏 2003. クビキレガイモドキの分布とその生息地. ちりぼたん. 34 (4) : 92-96.



写真提供者: 野村卓之



県内の分布